一休骸骨

バ 5
1561

九年まで
ざぜんをする
ちぐ
れ
こくうの
つらく
なれる
ものと

休鶴骨

うすもくれたまろきかたちおもしろ
くもよりんあるうへ。それをよちんの時
空腹とりのちくなへしうるく國
ぢふむまれくるものでひひのをまちを
としつるをすそまきりがまをいまざなりま
地面去ぜんら来乃めんをくもいまざるもみる
ものをこくうるを来るなるをかちるを見也へ
はすおりもまを我ぜんをいなるを仏んを
ん仏をも法ん心をも仏をもをもを
くのをんかみをもちをまをうをうを
をりまいををちをもんをるをもを地ぐ

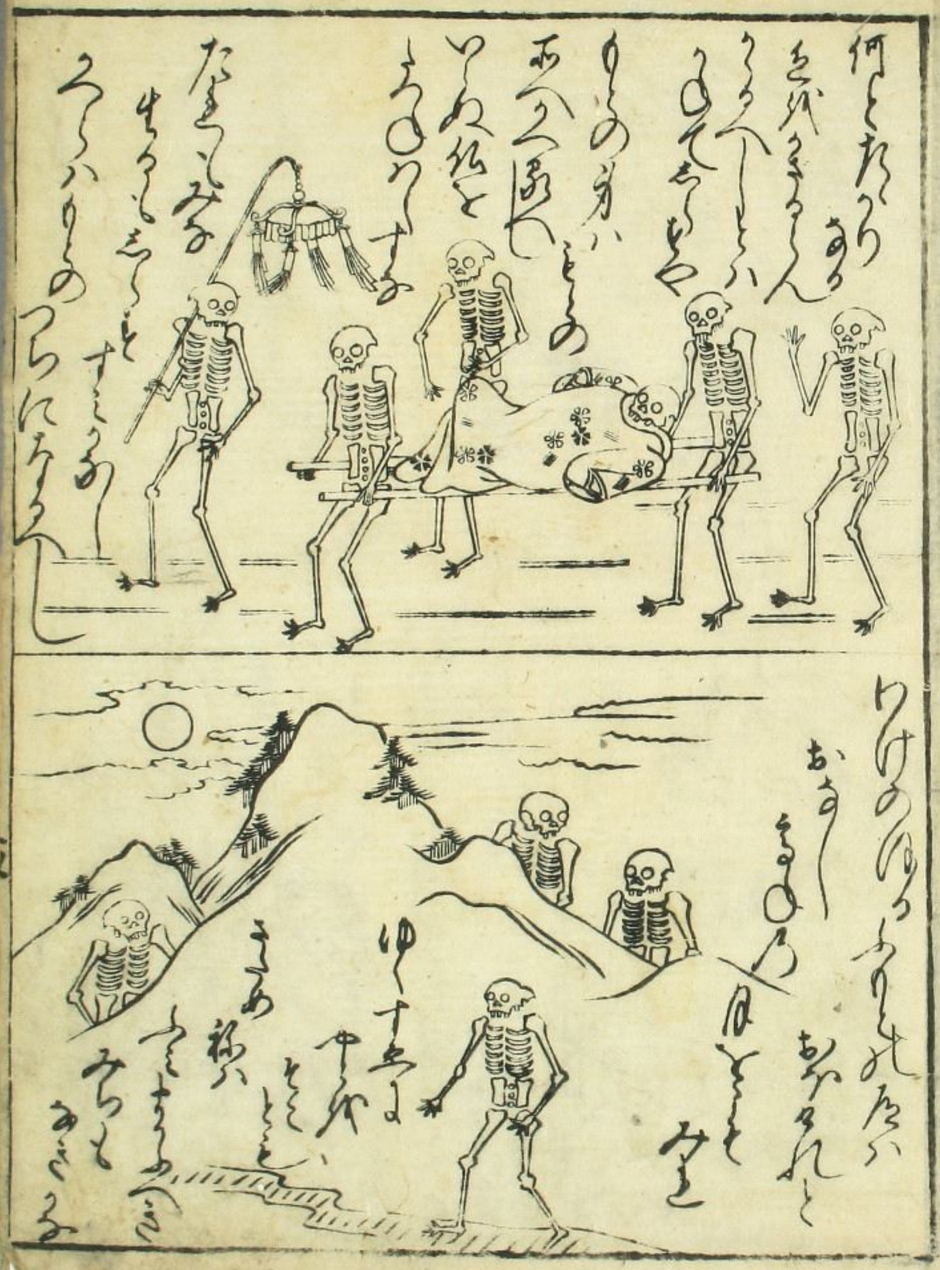
まれいるふたりのとのさまの人のうちあるいはてこてびとうちかへりてうまれもうまれてうまれてきてもうまれもおてん三界いよくくるのうくふさうてこうとあいたまてうもいでいてくとはとうもなくゆくかふたうねの野おくよいうとうそてこたうるゆくまてしたなうとねもてゆくまてうたうたうたのうたきはくくむとはあるまうまなれまてあるあるまるるまとんまるせみちうたうたはうたひたいうてふりたちくうんまいうてうとおはうてそたうたとのうとあまうたはかうたあ

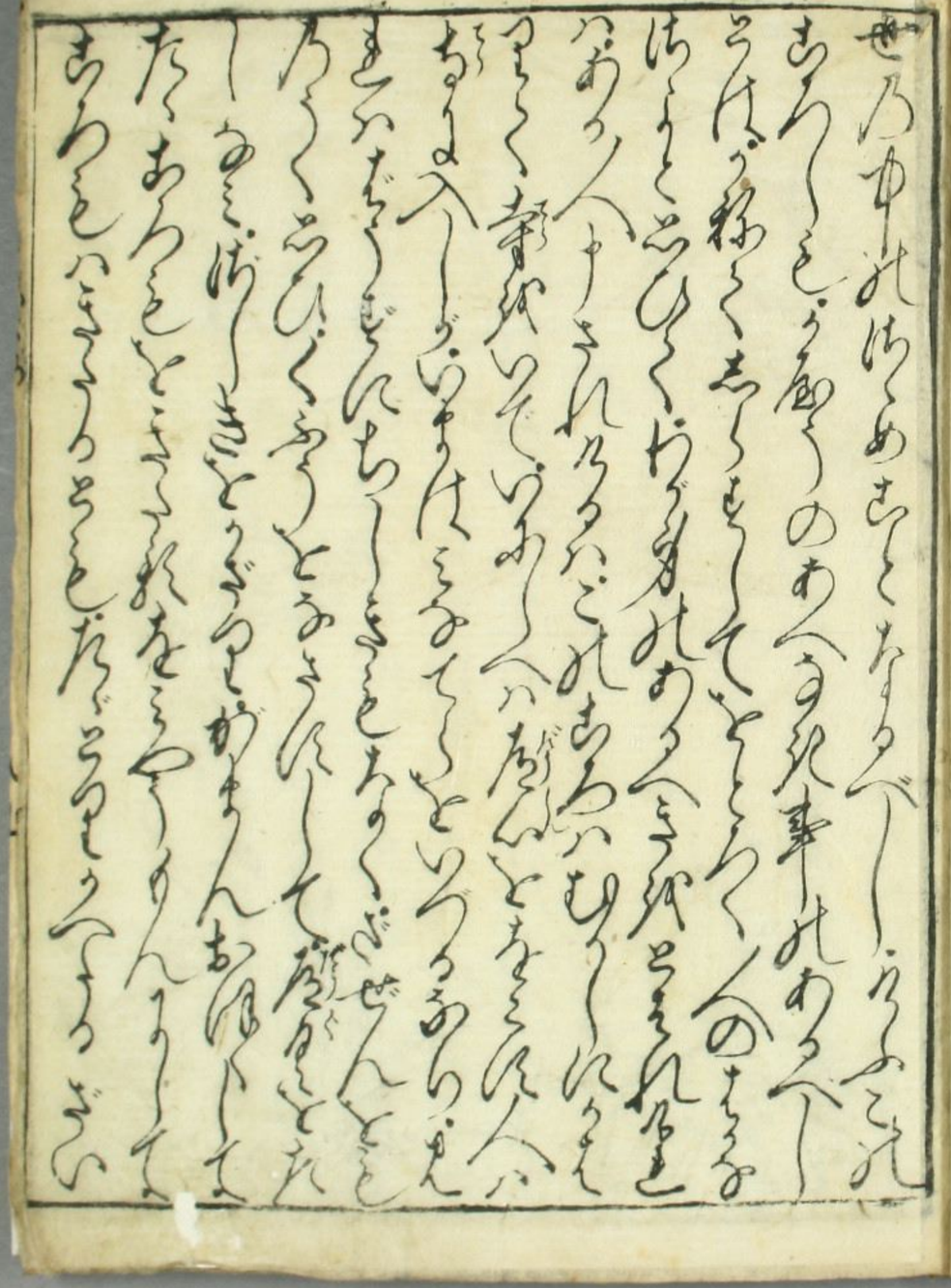
まれたなはがいうたいはうとあちいそくいうたくせのかはたはあるあすきまのふゆん野へをしへしいふせんをすきあれ神うんむのくをうたんをいつのの和うたんひむたうきのうたいつ事あうへうをあるきたはとうんうの乃とううたうるうたうへうはむうひくはをうたうくとうあれんをみの海うたあうたはうたあれ十余年れせりかうしうるの海うたあうたんまたあうたはとを

らんゆへすらうの風にふれたる家人のあること
て紙屋にてこれらの
紙をうりもとめてあるかぬ
なるをけるあつきこと
ちまつこれ美れうらの人豆
いがまつがいうれあるくひとものの家
ましひとものくおすくうにて毎せふあるの人
こしあるよりきるやゆくらひくんう
みるにおるがいうれちくあるこいてくく
ひとり出るあるもあるこれりも
夢ことてなれあらきるの多や
紙法と称するやはけよりうるる

海にのみちにいるこの屋敷
ちこちふいるはしもしうふ海
ちこちもこれ
ちこちみてなまあるふ
ちまこ人屋にて屋ふもせそこちも
つ称よあひとたひろうあれ
法ものふあのくなるれまをと
ちひあこれらの梅よいくけふ
みるこあるこ耳ようこの
なれ風のこにさんのの
けい月の海こよりまのこ
のこちゆあるうまの人

空
風
火
水
地





けすべしけさもかきもはきまりとも
あるをもへるもとなるもとなるもとなる身としごと
けさかるるのもとのもとのもとのもとの身と
うらさいなむもとたるもとたるもとたるもとたるもとたる
やうしうんかのいるもとのねるもとのもの
いるもとあるもとてかたちくるまいるもとのもの
おしまもとたるもとたるもとたるもとたるもとたる
てかたちくるもとたるもとたるもとたるもとたる
ものもとたるもとたるもとたるもとたるもとたる
むまれずせんとしてかたちくるもとたるもとたる
まかしうへよ飛騨あるもとたるもとたるもとたる
いとしごとの一念式たるもとたるもとたるもとたる

ちうりんも修行なくしてかたちくるもとたるもとたる
もとたるもとたるもとたるもとたるもとたるもとたる
乃あるもとたるもとたるもとたるもとたるもとたる
なるもとたるもとたるもとたるもとたるもとたる
法をもとたるもとたるもとたるもとたるもとたる
乃如しんをもとたるもとたるもとたるもとたる
もとたるもとたるもとたるもとたるもとたるもとたる
子なるもとたるもとたるもとたるもとたるもとたる
ぶつのもとたるもとたるもとたるもとたるもとたる
もとたるもとたるもとたるもとたるもとたるもとたる
もとたるもとたるもとたるもとたるもとたるもとたる
ゆるんようするもとたるもとたるもとたるもとたる

一切たゝものとなりてこゝ一切のいろといふ
切乃いろとなりてハかんぶんの田地とハいふ
なり一切業果國土乃いろハみなこゝろと
いろ乃ゆへのなりたるよりかんぶん乃ぢん
ぢんといふなり

ひとつ未代くるべきハ乃ハ
乃ハたゝ法乃ものもらくる
ものとなりて雲のうへまでもあるとも
くるべき乃ハたゝのこりてもあ
曜量ハ十余年ハせいかりとなりてこれを
しへ乃ものに為るこゝろ
さいごよ乃ものに為るこゝろ

よいてあるまてこゝ家ものとうすといひくるべ
てあるべき乃ハ乃ハ
業乃ものふるものもひしくるべ
為るべき法乃あるものあ
つまりて乃ハ乃ゆるものとなるといふ
とひ乃ハいくべき乃ものふやうれぬ十余
年ハせいかりハたゝハおさわいものといふ
うんとものとなるものもとと
いひくるべきものとなるものもとと
せいかりハいこれうせうとまゝ乃ハ
ハゆへまものとなるべんと今ものと
よいさへまひ乃ものあさあひとの

とゝのえたるこゝろばせとこゝろにくらべて
これ程はかりとりてこゝろにあらし
をこゝろもあらはしかたはかりひくくもこゝろへらも
はかりかれくゝこゝろへしものこゝろばせ
人こゝろはいかゝもこゝろ程法者こゝろへらは
此程はこゝ世乃こゝよりこゝ程乃世よりそこゝ
乃法こゝこのこゝろ乃こゝろにこゝろくの
二十八組こゝろにこゝろかん
ふくの鬼こゝろふくのはなこゝ
乃こゝろこゝ先なれゆへよこゝ
こゝを一さい乃はしこゝをこゝろたゝ
こゝの程乃こゝ乃こゝ者本乃いこゝも

こゝろこゝろなりとこゝろこゝ
はこゝ水火風乃こゝろこゝ
こゝろこゝろこゝはこゝ者のこゝ
はひくこゝちけのこゝ
こゝろこゝすこゝこゝちこゝ
こゝ先なれゆへよこゝ
こゝなり

あふ事もみなの世のこゝ
程ねこゝとゝはこゝ
みなくこゝひこゝ
たこゝねはこゝ大こゝあやこゝ
はこゝ人乃こゝ

明よりあめつちいつもこくうなる
なりて天地国土一切のうんみんの罪を
うつへし
一切諸八万法をうらもそくば一寸もあく
はんみつへし大宗乃人はよはうへし
うれをそもそも義乃うらのうつるる
ほのくはさうれとうんをなり

康正三年四月八日 庵堂七世東海菊大
德寺一休子宗純

奉春吉旦